

## 平成25年度に完成した優良工事等 事務所長表彰式について

優良工事等の表彰は、北陸地方整備局立山砂防事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

つきましては、平成25年度完成の優良工事等について選定し、下記のとおり表彰式を実施しますのでお知らせします。

また、7月18日に行われました優良工事等の局長表彰の披露も行います。

日時：平成26年7月29日(火) 15時00分～16時00分

場所：国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所 2階会議室

次第：別紙のとおり

### ○事務所長表彰

#### 1. 優良工事

ダイチ株式会社 「H25 津之浦斜面对策(その1)工事」

#### 2. 優良建設技術者(工事)

ダイチ株式会社 「吉川 浩(監理技術者、現場代理人)」

#### 3. 優良建設技術者(委託業務)

一般社団法人 砂防フロンティア整備推進機構 「佐光 洋一(管理技術者)」

### ○局長表彰 披露

#### 1. 優良工事

新栄建設株式会社 「H25 鬼ヶ城他斜面对策工事」

#### 2. 優良建設技術者(工事)

新栄建設株式会社 「下田 敏行(監理技術者)」

#### 3. 優良委託業務

一般社団法人 砂防フロンティア整備推進機構

「平成25年度立山砂防事務所大規模土砂災害危機管理対応検討業務」

## お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所

副所長(技術)

福田 光生

工務課長

藤田 幸雄

電話 076-482-1111 (代表)

FAX 076-482-1101

### 立山砂防事務所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂61番地

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら 



# 平成26年度 優良工事等表彰式次第

日 時：平成26年 7月29日（火）15：00～16：00

場 所：立山砂防事務所 2階会議室

一、開 式

一、優良工事等表彰

一、局長表彰披露

一、事務所長挨拶

一、受賞者代表挨拶

一、閉 式

記念撮影

懇談会

※開式から懇談会終了まで傍聴は可能ですが、撮影は記念撮影までとします。

平成25年度完成 優良工事 [事務所長表彰]

番号

1

受注者	ダイチ株式会社	事務所名	立山砂防事務所
	代表取締役 田中 洋一郎	工期	平成25年3月29日 ～ 平成25年11月8日
	富山県富山市一本木259-1	請負金額	125,475千円
工事名	H25 津之浦斜面对策(その1)工事	工事場所	富山県中新川郡立山町芦峠寺地先
工事内容	崩落土砂除去工 1式 落石吸収柵復旧工 L=30m 落石吸収柵工(1) L=35m 倒伏型 落石吸収柵工(2) L=23m 標準型 落石吸収柵工(3) L=16m 標準型 落石吸収柵工(4) L=22.5m 倒伏型 落石防護柵工 L=10m 仮設工 1式		
選定理由	本工事は、砂防工事専用軌道の沿線に位置し、斜面勾配が40°～70°と急峻であり、平地が軌道敷きの幅しかない狭隘な現場での落石対策工事である。 施工箇所直下を軌道列車が走行するため、軌道の安全運行を確保する必要がある現場環境の中、現場特有の安全対策が図られている。また、対策工法特有の事象に積極的な工夫・提案を持って無事故で適切な施工・品質・工程管理のもと良質な工事を完成させた。		

平成25年度完成 優良建設技術者(工事) [事務所長表彰]

番号	2
----	---

技術者	吉川 浩 (監理技術者) (現場代理人)	事務所名	立山砂防事務所
		工事名	H25 津之浦斜面对策(その1)工事
		工事場所	富山県中新川郡立山町芦峯寺地先
	ダイチ株式会社 富山県富山市一本木259-1	工期	平成25年3月29日 ～ 平成25年11月8日
		請負金額	125,475千円
工事内容	崩落土砂除去工 1式 落石吸収柵復旧工 L=30m 落石吸収柵工(1) L=35m 倒伏型 落石吸収柵工(2) L=23m 標準型 落石吸収柵工(3) L=16m 標準型 落石吸収柵工(4) L=22.5m 倒伏型 落石防護柵工 L=10m 仮設工 1式		
選定理由	本工事は、砂防工事専用軌道の沿線に位置し、斜面勾配が40°～70°と急峻であり、平地が軌道敷きの幅しかない狭隘な現場での落石対策工事である。当該技術者は前年度も監理技術者として落石対策工事を経験しており、軌道沿線での施工条件を熟知した上で、落石に対する安全対策・軌道運行の安全確保を的確に実施している。さらに、採用工法の特性を十分理解した上で、積極的な創意工夫を行い、厳しい作業環境の中、無事故で良質な工事を完遂させた。		

平成25年度完成 優良建設技術者(業務) [事務所長表彰]

番号

3

技術者	佐光 洋一 (管理技術者)	事務所名	立山砂防事務所
		業務名	平成25年度立山砂防事務所大規模 土砂災害危機管理対応検討業務
	一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構  東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館 別館	工期	平成25年9月21日 ～ 平成26年3月28日
		請負金額	28,948.5千円
選定理由	<p>本業務は、立山砂防事務所管内・外の範囲において、河道閉塞を伴う大規模土砂災害が発生した場合に、立山砂防事務所が主体的に行うべき活動や関係自治体への支援活動等を円滑かつ適切に実施すること、富山県・市町村をはじめとする関係機関との連携強化等を通じた危機管理対応能力の向上をはかることなどを目的に大規模土砂災害危機管理計画の見直し等を実施したものである。</p> <p>県・市町村の地域防災計画の見直し、地域特性把握した災害シナリオの作成、学習型訓練においては、富山県で初めての大規模土砂災害を想定した新たな方式の訓練であり、企画立案を行うとともに、訓練の司会として関係機関に質疑し、訓練の流れを調整する役を務める等、危機管理において実用性の高い成果を得ることができた。</p>		

## 平成25年度完成 優良工事 [局長表彰]

番号

4

受注者	新栄建設株式会社	事務所名	立山砂防事務所
	代表取締役 高平 剛	工期	平成25年5月11日 ～ 平成25年11月1日
	富山県中新川郡立山町大清水18	請負金額	152,670千円
工事名	H25 鬼ヶ城他斜面对策工事	工事場所	富山県中新川郡立山町芦峯寺地先
工事内容	落石防止網工A=1120m <sup>2</sup> 落石吸収柵工(1)L=25m標準型 落石吸収柵工(2)L=20.5m標準型 落石吸収柵工(3)L=26m倒伏型 落石吸収柵工(4)L=35.5m倒伏型 雑工:1式、仮設工:1式、仮囲工:1式		
選定理由	本工事は、砂防工事専用軌道の沿線3箇所(鬼ヶ城工区2箇所、樺平工区1箇所)からなる落石対策工事である。施工箇所は資材及び人員の輸送が制限される事に加え、軌道列車が頻繁に往来する軌道沿線での施工であり、時間的制約を受ける現場環境であったが、列車接近時における作業の中断、モノレール設置による作業員への負担軽減措置等、独自の創意工夫を図った。特に、冬期中に斜面崩壊した鬼ヶ城工区での発生源対策では、斜面が非常に不安定な状態であり度重なる再崩落もあったが、限られた工期のなか工法の確立から現場施工までを臨機に対応し、厳しい現場環境のなか無事故で適切な施工・品質・工程管理のもと良質な工事を完成させた。		

平成25年度完成 優良建設技術者(工事) [局長表彰]

番号

5

技術者	下田 敏行 (監理技術者)	事務所名	立山砂防事務所
		工事名	H25 鬼ヶ城他斜面对策工事
		工事場所	富山県中新川郡立山町芦峯寺地先
	新栄建設株式会社 富山県中新川郡立山町大清水18	工期	平成25年5月11日 ～ 平成25年11月1日
		請負金額	152,670千円
工事内容	落石防止網工A=1120m <sup>2</sup> 落石吸収柵工(1)L=25m標準型 落石吸収柵工(2)L=20.5m標準型 落石吸収柵工(3)L=26m倒伏型 落石吸収柵工(4)L=35.5m倒伏型 雑工:1式、仮設工:1式、仮囲工:1式		
選定理由	本工事は、砂防工事専用軌道の沿線3箇所(鬼ヶ城工区2箇所、樺平工区1箇所)からなる落石対策工事である。 当該技術者は、対策工法の確立から施工まで現地の特性をよく理解し再崩落などの突発な事態にも的確に対処し工事を遂行した。また、軌道近接工事である事に対策を講じ、列車の接近を作業員へ知らせる創意工夫を行い、軌道列車の安全運行確保に努めた。さらに通勤用モノレールの設置による、作業員の負担軽減及び作業効率の向上を図る等、作業範囲が広範囲に分布し、時間的制約を受ける作業を伴う工事であったが、無事故で適切な施工・品質・工程管理のもと、良質な工事を完遂させたその功績は評価に値する。		

平成25年度完成 優良委託業務 [局長表彰]

番号

6

受注者	一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構	事務所名	立山砂防事務所
	理事長 森 俊 勇	業務名	平成25年度立山砂防事務所大規模 土砂災害危機管理対応検討業務
	東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館 別館	工期	平成25年9月21日 ～ 平成26年3月28日
		請負金額	28,948.5千円
選定理由	<p>本業務は、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律の一部改正」が平成23年5月1日から施行されたことに伴い、立山砂防事務所管内・外の範囲において、河道閉塞を伴う大規模土砂災害が発生した場合に、立山砂防事務所が主体的に行うべき活動や関係自治体への支援活動等を円滑かつ適切に実施すること、富山県・市町村をはじめとする関係機関との連携強化等を通じた危機管理対応能力の向上をはかることなどを目的に大規模土砂災害危機管理計画の見直し等を実施したものである。</p> <p>富山県内で初めてとなる学習型方式（質問・回答形式）による土砂災害合同防災訓練の実施、危機管理体制構築のため地域特性を反映した災害シナリオ及び対応シナリオの作成や、富山県内市町村の地域防災計画における土砂災害に関する対応について見直し検討及び記載内容の提案等を行った。</p> <p>検討の実施にあたり、土砂防災に関する広範囲の知識や高度な技術力に基づく提案行い、初めてとなる学習型方式の訓練では、富山県や上市町の関係者に事前説明会を開催し、わかりやすい資料作成し理解を得る等、適切に対処した。</p>		